

人工知能を用いた「MANKAI STAGE『A3!』」

キャラクターの感情分析

～セリフから見る“らしさ”の表現～

植田 康孝*・野津 めぐみ**

要 旨

本稿は、リベル・エンタテインメントが提供しているスマートフォン向けアプリゲーム「A3!（エースリー）」を舞台化した、「MANKAI STAGE『A3!』」におけるキャラクターの感情や発言傾向を分析し、女性客が2.5次元舞台でキャラクターらしさを感じる理由について考察することを研究目的とする。「MANKAI STAGE『A3!』」動画から音声合成技術を用いてテキスト変換、関連するウェブサイトや書籍で補足して、セリフからキャラクター達の特徴を挙げ、舞台における“らしさ”の表現を分析した。「MANKAI STAGE『A3!』」において「キャラクターのファンは、他のキャラクターとのやり取りで感じられる関係性から物語における“推しらしさ”を見出しており、舞台ではキャラクター同士の関係性を見せることで“らしさ”が表現されている」と仮説を立てた。本稿では、2020年までに上演された公演の戯曲全本6冊から劇中の会話データを抽出し、自然言語解析を用いてキャラクターごとに分析した結果を基にキャラクター同士の関係性や傾向などについて図表を作成することにより、仮説を検証した。使用したソフトは過去のデータをAIに学習させて言語理解力を培っている。人だのみでは素早く正確に分析することが出来ないため、恣意性を排除できる人工知能（AI）が最適な分析手法と捉えた。

キーワード：推しらしさ、2.5次元舞台、音声合成技術、テキスト変換、自然言語解析

1. 「MANKAI STAGE『A3!』」

「MANKAI STAGE『A3!』」シリーズは、原作ゲームのメインストーリー第1部の内容を「～SPRING & SUMMER 2018～」、「～AUTUMN & WINTER 2019～」の2公演に分けて上演し、その後各組第2回公演・第3回公演のイベントストーリーの内容を組単独公演として4公演に分けて上演された。各公演にはメインとなる組の劇団員に限らず、サポートメンバーとして裏方のキャラク

ターに加え、違う組の劇団員も数人出演しているため、組を超えたそれぞれの関係性を分析することが出来る。また、2020年9月には東京ガーデンシアターにて「Four Seasons LIVE 2020」が開催され、これまでの公演に登場したキャラクター総勢27名が出演したことにより、原作ゲームではほとんど見る事ができなかった組み合わせのキャラクターたちが行うやりとりも演じられた。

1-1 原作ゲーム「A3!」について

舞台の原作となるイケメン役者育成ゲーム「A3!」は、2017年1月に配信を開始し2020年6月には700万ダウンロードを突破した⁽¹⁾。ゲームプレイヤーは、失踪した父親がかつて総監督を務めていた劇団「MANKAIカンパニー」を1,000万

2021年11月30日受付

* 江戸川大学 マス・コミュニケーション学科教授
理学博士（国際情報通信学）

** 植田ゼミ第14期、人工知能

円の借金を抱えた境遇で、劇団員がたった一人という状態から立て直す女性主人公になり、ゲームを進める。ストーリー内では主人公である監督が劇団員集めや演技指導を行うセリフがあるが、舞台では観客を監督として扱うため、監督のセリフは専用の効果音で表現されるか他のキャラクター

のセリフとして伝えられる。表1は、舞台上で上演された原作ゲームの各ストーリーについて、公演の世界観や関係性の動きなどをまとめたものである。

12すべての演目で劇団員が主演または準主演を経験し、各ストーリーにおいても主軸となつて

表1 原作ゲームの各ストーリー・関係性

ストーリー名	上演した舞台のタイトル	ストーリー内の演目	主演・準主演	公演の世界観	ストーリーでのキャラクターの関係性の動き
The Show Must Go On!	SPRING & SUMMER 2018 (一幕)	ロミオとジュリアス	佐久間咲也 碓氷真澄	「ロミオとジュリエット」を改編した友情もの	春組が結成され、少しずつお互いの経験や気持ちを理解して行く
克服のSUMMER!	SPRING & SUMMER 2018 (二幕)	Water me!	皇天馬 瑠璃川幸	アラビアンナイトモチーフのコメディ	夏組が結成され、徐々にそれぞれが持つ弱さを支え合うようになる
バッドボーイポートレイト	AUTUMN & WINTER 2019 (一幕)	なんて素敵にピカレスク	摂津万里 兵頭十座	マフィアを題材としたパディもの	秋組が結成され、ぶつかり合いながらそれぞれの後悔と向き合う
もう一度、ここから。	AUTUMN & WINTER 2019 (二幕)	天使を憐れむ歌。	月岡紬 高遠丞	人間に恋をした天使を巡る悲劇	冬組が結成され、それぞれが何かを抱えていることを認め合い共に新たなスタートを切る
不思議の国の青年アリス	SPRING 2019 (一幕)	不思議の国の青年アリス	碓氷真澄 茅ヶ崎至	男子大学生のアリスが不思議の国を体験するメルヘン劇	碓氷と茅ヶ崎がお互いを理解できないなりに通じ合えるようになる
にぼしを巡る冒険	SUMMER 2019 (一幕)	にぼしを巡る冒険	瑠璃川幸 三好一成	“にゃんげん界”のネコたちが秘宝を探す冒険コメディ	衣装と芝居について悩む瑠璃川を同じデザイナーとして三好が支える
異邦人	AUTUMN 2020 (一幕)	異邦人	伏見臣 七尾太一	近未来の荒廃した世界を描くファンタジーアクション	七尾を中心としたメンバーの助言により伏見が過去の仲間への後悔や葛藤から解放される
主人はミステリにご執心	WINTER 2020 (一幕)	主人はミステリにご執心	有栖川誉 御影密	大正時代の御曹司とその執事によるミステリもの	極端な思考の有栖川と記憶喪失の御影が他者の気持ちを考えられるようになる
ぜんまい仕掛けのココロ	SPRING 2019 (二幕)	ぜんまい仕掛けのココロ	皆木綴 シトロン	錬金術師とホームクルスの切ない友情もの	脚本について悩む皆木に、離れていても思い合える友情の形をシトロンが教える
抜錨！スカイ海賊団	SUMMER 2019 (二幕)	抜錨！スカイ海賊団	斑鳩三角 向坂椋	海賊たちの航海を描くコメディ	斑鳩の祖父との思い出を巡って、向坂が斑鳩のために殻を破り成長する
仁侠伝・流れ者銀二	AUTUMN 2020 (二幕)	仁侠伝・流れ者銀二	古市左京 兵頭十座	戦後の裏社会を描く仁侠もの	古市が過去を打ち明けると共に、歳の離れたメンバーたちから必要とされていることに気付く
真夜中の住人	WINTER 2020 (二幕)	真夜中の住人	雪白東 高遠丞	吸血鬼と人間の友情を描いたダークファンタジー	お互いに踏み込めなかった過去や抱えているものをさらけ出し「運命共同体」となる

出所：野津が独自に作成

いる。また、その話のメインとなるキャラクターの過去にまつわるストーリーが多く、それを知ったメンバーが行動することによりそれぞれの関係が進展するため、キャラクターのファンが“推し”について知る際には他のキャラクターとの関係性も同時に理解していると言える。

1-2 キャラクターの紹介

本項では、MANKAI カンパニーに所属する劇団員やサブキャラクターについて、表2から表6で紹介する。なお2020年までに舞台上で上演されたストーリーは原作ストーリー第1部の内容であり、第2部で加入する新メンバー4人は登場していないため、除外している。

1-2-1 春組

表2 春組のキャラクター

キャラクター名	役者(演者)	コンセプト	性格・特徴
佐久間咲也	横田龍儀	まっすぐ過ぎるお日様系元気役者	天真爛漫で誰に対しても礼儀正しい
碓氷真澄	牧島輝	あなたに一途すぎるクール系年下役者	監督以外には無関心でぶっきらぼう
皆木綴	前川優希	苦勞性すぎるツッコミ系お兄ちゃん役者	面倒見が良い常識人
茅ヶ崎至	立石俊樹	爽やか王子様系エリートリーマン役者…?	外面が良い廃ゲーマー
シトロン	古谷大和	怪しくて適当過ぎる異国からの留学生役者	常に明るいまードメーカー

出所：野津が独自に作成

1-2-2 夏組

表3 夏組のキャラクター

キャラクター名	役者(演者)	コンセプト	性格・特徴
皇天馬	陳内将	負けず嫌いすぎる天才オレ様役者	自信家で横柄だがいじられがち
瑠璃川幸	宮崎湧	毒舌キュートなお針子ちゃん役者	直球な物言いですバサバサしている
向坂椋	野口準	王子様に憧れる夢見がちピュア役者	ネガティブだが優しい性格で空気が読める
斑鳩三角	本田礼生	トリッキーなアッパー系不思議ちゃん役者	人の気持ちを察して励ますことができる
三好一成	赤澤燈	コミュ力抜群なイマドキ美大生役者	実は真面目で誰とでも仲良くなれる

出所：野津が独自に作成⁽²⁾

1-2-3 秋組

表4 秋組のキャラクター

キャラクター名	役者(演者)	コンセプト	性格・特徴
摂津万里	水江建太	人生イーजीモードなネオヤンキー役者	飄々としているが頑固な面がある
兵頭十座	中村太郎	超絶大根な硬派ヤンキー役者	不器用だが真面目で目上には礼儀正しい
七尾太一	赤澤遼太郎	とにかくモテたいワンコ系ヤンキー役者	元気が良く人懐っこい
伏見臣	稲垣成弥	オカン気質なほっこり元ヤン役者	人のために行動することが苦ではない
古市左京	藤田玲	冷酷無比なエリートヤクザ役者	厳しい物言いだが常に正論

出所：野津が独自に作成⁽³⁾

1-2-4 冬組

表5 冬組のキャラクター

キャラクター名	役者(演者)	コンセプト	性格・特徴
月岡紬	荒牧慶彦	失くした夢を取り戻しにきた出戻り役者	常に優しく、気が回る
高遠丞	北園涼	芝居にストイックな口ベタ役者	無愛想でなかなか素直になれない
御影密	植田圭輔	記憶をなくした眠り王子役者	素直な言動でわかりやすい
有栖川誉	田中涼星	芸術肌すぎる奇天烈ポエミー役者	独特な世界観を持ち時に周りを困惑させる
雪白東	上田堪大	セクシー美魔女系おっとり役者	どこか達観していてつかめない雰囲気を持つ

出所：野津が独自に作成⁽⁴⁾⁽⁵⁾

1-2-5 裏方・サブキャラクター

表6 裏方・サブキャラクターのキャラクター

キャラクター名	役者(演者)	コンセプト	性格・特徴
松川伊助	田口涼		天然な劇場支配人
鹿島雄三	滝口幸広		厳しい初代春組OB
迫田ケン	田内季宇		古市の忠犬ヤクザ
神木坂レニ	河合龍之介		因縁を持つGOD座主宰
飛鳥晴翔	伊崎龍次郎		嫌味なGOD座トップキャスト
水野茅	笹森裕貴		皆木と小学生の頃に仲良くなった友達でありファン
斑鳩円	宇佐卓真		疎遠になっている三角の弟
新庄リョウ	里中将道		暴走族時代の伏見の後輩

出所：野津が独自に作成⁽⁶⁾

1-3 公演概要

「MANKAI STAGE『A3』」シリーズの公演数は、「～SPRING & SUMMER 2018～」が全38公演⁽⁷⁾、「～AUTUMN & WINTER 2019～」が全42公演⁽⁸⁾、「～SPRING 2019～」が全45公演⁽⁹⁾、「～SUMMER 2019～」が全56公演⁽¹⁰⁾、「～AUTUMN 2020～」が全50公演⁽¹¹⁾、「～WINTER 2020～」が全11公演⁽¹²⁾となっている。なお、2020年8月に上演された「～WINTER 2020～」は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に公演数が減少しているが、当初は同年4月～6月に全63公演⁽¹³⁾が予定されていた。

公演数が多い中では日替わりの要素があるシーンが注目されており、そのパートにはサポートメンバーであるキャラクターが登場して掛け合いをする場合が多い。「～SPRING & SUMMER 2018～」では迫田ケン・古市左京（秋組入団前）、「～AUTUMN & WINTER 2019～」では向坂椋・斑鳩三角、「～SPRING 2019～」では摂津万里・月岡紬、「～AUTUMN 2020～」では古市左京・雪白東、「～WINTER 2020～」では三好一成・シトロンらが他のキャラクターや季節の話題、時事ネタなどを取り入れた日替わりシーンを担当していた。

各公演のサポートメンバーには、メインとなる組の劇団員と関わりの深いキャラクターや物語の進行に必要となるキャラクターが選出されており、日替わりの要素がなくともやり取りを行うシーンが必ず含まれる。例を挙げると、「～SUMMER 2019～」では向坂椋と兵頭十座が仲の良い同士であるため2人のやり取りが随所に入っていたり、シリーズ全タイトルに脚本担当の皆木綴が出演していたりと、メインとなる組以外のキャラクターも重要視されていることが分かる。

また、「～SPRING & SUMMER 2018～」では実際の千秋楽公演のみ劇中劇も千秋楽となりキャラクターが発する心の声のセリフや掛け合いが変化しており、全体を通してキャラクターの関係性が分かるシーンが多く含まれる舞台作品である。

2. セリフ分析

本研究では、「MANKAI STAGE『A3』」シリーズの戯曲本全6冊のセリフデータを対象に「音声合成技術」によりテキスト変換（文字起こし）した後に、「自然言語解析」を行うことにより、舞台でのキャラクター同士の会話セリフを分析した。「自然言語解析」とは、テキストデータという鉱脈のなかから言葉（キーワード）同士に見られるパターンや規則性を見つけ、有用な知識・情報を取り出そうとする手法・技術である。自然言語解析はキャラクターのセリフ分析を行う際にも有効であると捉えた。本節の分析では、戯曲本のセリフのテキストデータについて、キャラクター同士の関係性に焦点を当てて調べるために次の5つの処理を行った。

- (1) 独り言や状況の説明セリフなどの関係性表現に影響しないテキストを削除した。
- (2) 劇中歌の歌詞に関して、発言先の相手がいるセリフ部分を除いて削除した。
- (3) 劇中劇での役によるセリフや相手のいない心の声のテキストを削除した。
- (4) 自然言語解析ソフトウェアによって、「主要語」の抽出を行った。ここで言う「主要語」とは、「文節から『た・に・を・は』などの機能語を除いたもので、それ自体が意味を持つ語」である。
- (5) 抽出された主要語の頻度分布を求めた。

セリフデータを発言したキャラクターとその相手ごとに自然言語解析することにより、各キャラクター同士の会話を持つ特徴を捉え、関係性をまとめた図1~6を作成し分析する。

2-1 SPRING & SUMMER 2018

「~SPRING & SUMMER 2018~」では一幕で春組が結成し旗揚げ公演を行うまで、二幕では夏組が結成し旗揚げ公演を行うまでのゲーム内メインストーリー1幕・2幕の内容が描かれている。

2-1-1 出演キャラクター

本公演の出演キャラクターは以下の通りである。

メインキャラクター

【春組】佐久間咲也、碓氷真澄、皆木綴、茅ヶ崎至、シトロ

【夏組】皇天馬、瑠璃川幸、向坂椋、斑鳩三角、三好一成

サポートキャラクター

【裏方・その他】松川伊助、鹿島雄三、古市左京、迫田ケン

2-1-2 セリフ分析結果

本公演の戯曲本からキャラクター、キャラクターの組み合わせ、セリフを自然言語解析し、感情分析AIによって算出された「ポジネガ」（文章に含まれるポジティブな感情の文とネガティブな感情の文の存在比）のパーセンテージ、喜び・好き・悲しみ・恐れ・怒りの感情の中から最も高い数値（全ての感情の平均値を50%とした偏差値）⁽¹⁴⁾となったもの、特徴的であったものの結果を表7にまとめた。なお、関わりが少なくデータにならなかったキャラクターは表から除き、同じ組のメンバーである場合は斜線を引いた。

表2から、最もパーセンテージが高い感情がキャラクターごとに多く偏っていることが分かる。また、メインとなる各組リーダー（佐久間咲也・皇天馬）以外は同じ組でもほとんど会話をしておらずデータにならない場合もあり、夏組は斜線を引いたメンバーが多くなった。各関係については、図表と共に説明・考察する。

2-1-3 関係性の図式化と考察

図1では、表8から読み取れた情報を基にキャラクターの感情をネガティブ・悲しみ（青）、ポジティブ（黄）、怒り（赤）、好意（ピンク）の色に分けた矢印で繋ぎ、さらにその太さで感情の強度を示し関係性を整理した。

一幕ではMANKAIカンパニーの劇団員が佐久間1名のみであった状況から新生春組旗揚げ公演「ロミオとジュリアス」上演までに春組メンバー

表7 SPRING & SUMMER 2018 各キャラクターのセリフ感情分析

発言キャラクター	相手	ポジティブ	ネガティブ	中立	感情
佐久間咲也	全員（全セリフ）	13.7%	33.1%	53.2%	好き 82.1%
	確永真澄	5.3%	36.8%	57.9%	好き 84.2%
	皆木綴	14.8%	37.0%	48.1%	悲しみ 81%
	茅ヶ崎至	5.9%	35.3%	58.8%	好き 75.4%
	シトロソ	6.7%	40.0%	53.3%	好き 84.7%
	松川伊助	12.5%	29.2%	58.3%	好き 78.3%
	皇天馬	18.5%	22.2%	59.3%	好き 81.2%
確永真澄	鹿島雄三	35.3%	29.4%	35.3%	好き 83.7%
	全員（全セリフ）	1.2%	33.3%	65.4%	怒り 85.8%
	佐久間咲也	0.1%	40.0%	59.9%	怒り 88.7%
	皆木綴	0.1%	33.3%	66.6%	怒り 81.6%
	茅ヶ崎至	0.1%	11.1%	88.8%	怒り 80.0%
皆木綴	シトロソ				
	監督（観客）	4.8%	33.3%	61.9%	怒り 77.6%
	全員（全セリフ）	9.9%	22.5%	67.5%	好き 69.0%
	佐久間咲也	3.8%	15.4%	80.8%	怒り 77.6%
	確永真澄	0.1%	43.4%	56.5%	怒り 83.8%
	茅ヶ崎至	5.9%	11.8%	82.4%	怒り 89.4%
茅ヶ崎至	シトロソ	8.7%	17.4%	73.9%	怒り 68.7%
	全員（全セリフ）	12.0%	26.5%	61.4%	好き 81.4%
	佐久間咲也	12.5%	50.0%	37.5%	怒り 74.0%
	確永真澄				怒り 73.3%
	皆木綴	0.1%	30.7%	69.2%	怒り 74.9%
シトロソ	シトロソ	0.1%	27.2%	72.7%	怒り 74.9%
	全員（全セリフ）	23.5%	18.2%	54.5%	好き 81.4%
	佐久間咲也	9.1%	13.6%	77.3%	好き 73.6%
	確永真澄				好き 83.8%
	皆木綴	38.9%	16.7%	44.4%	好き 86.8%
皇天馬	茅ヶ崎至	25.0%	31.3%	43.8%	怒り・好き 74.0%
	全員（全セリフ）	5.2%	39.2%	55.6%	怒り 88.3%
	瑠璃川幸	0.1%	40.9%	59.0%	怒り 89.1%
	向坂椋	4.2%	45.8%	50.0%	怒り 80.4%
	斑鳩三角	5.3%	26.3%	68.4%	怒り 86.8%
	三好一成	16.7%	37.5%	45.8%	怒り 89.7%
	佐久間咲也	0.1%	44.0%	55.9%	怒り 83.8%
	松川伊助	6.3%	40.6%	53.1%	怒り 89.0%
	全員（全セリフ）	11.5%	31.2%	57.3%	怒り 78.2%
瑠璃川幸	皇天馬	6.5%	45.2%	48.4%	怒り 76.4%
	向坂椋	11.1%	14.8%	74.1%	怒り 72.6%
	斑鳩三角				
	三好一成				
	全員（全セリフ）	14.6%	26.8%	58.5%	好き 83.8%
向坂椋	皇天馬	6.7%	30.0%	63.3%	好き 89.0%
	瑠璃川幸	13.0%	8.7%	78.3%	悲しみ 82.5%
	斑鳩三角				
	三好一成				
	全員（全セリフ）	26.2%	16.9%	56.9%	好き 85.7%
斑鳩三角	皇天馬	30.0%	10.0%	60.0%	好き 88.5%
	瑠璃川幸				
	向坂椋				
	三好一成				
	監督（観客）	31.6%	15.8%	52.6%	好き 85.9%
三好一成	全員（全セリフ）	17.1%	17.1%	65.9%	好き 82.7%
	皇天馬	16.7%	8.3%	75.0%	好き 77.6%
	瑠璃川幸	16.7%	16.7%	66.7%	好き 85.9%
	向坂椋				
	斑鳩三角	28.6%	14.3%	57.1%	怒り・好き 73.6%
	皆木綴	20.0%	10.0%	70.0%	好き 86.4%

出所：野津が独自に作成

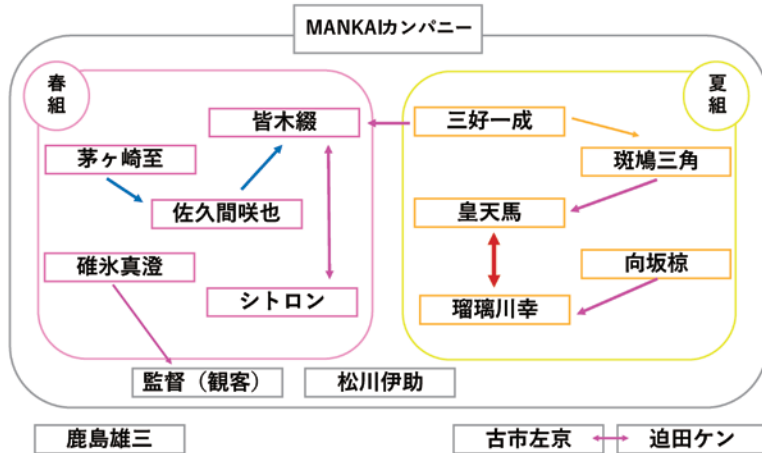


図1 SPRING & SUMMER 2018 感情の相関図

出所：野津が独自に作成

の衝突があり、それぞれが持つ葛藤の相互理解が醸成される。

その過程で、茅ヶ崎は芝居に真っ直ぐ打ち込んでいて熱意のある佐久間に対して自身との差や後ろめたさを感じており、そのことから佐久間への発言にネガティブの割合が50%と、他のキャラクターよりもネガティブな感情が強く表れたと考えられる。また、佐久間が皆木に向けて発言したセリフは分析結果では唯一悲しみの要素が強くなっていったが、これは碓氷が佐久間に対して無遠慮に指摘したことについて皆木が厳しく注意したところを、佐久間が自分のせいだと庇う場面が多いためである可能性が高く、佐久間が皆木に対してネガティブな感情を持っているのではなく、佐久間なりの碓氷への気遣いによる自虐発言の結果であると言える。一方、碓氷は同じ春組のメンバーにはポジティブな発言が0.1%のみであり、会話に入ることに消極的なこともあり、発言数が少なく、一目惚れした監督（観客）に向けた「好き」という感情が目立っている。言葉が乱暴であるため、多くのセリフが怒りと読み取られていると予測する。反対に、シトロンは発言数が多い上でポジティブの割合が他の劇団員に比べて高かった。ネタ要員でありながら、周りを良く見て人に気遣いが出来るというキャラクター性も各パーセンテ

ージのバランスが良いことを感じられる。皆木の発言はネガティブ寄りでありながら感情がシトロンにのみ「好き」と強く向いていることは、ポケとツッコミの関係になった結果であると考えられる。

二幕では夏組がメインとなり、旗揚げ公演「Water me!」上演までに性格もバラバラなメンバーが演劇を通して関わり方を学び、皇の持つトラウマを中心としながらそれぞれが抱えるコンプレックスを共に理解し克服して行く。

セリフ分析の結果でも分かったが、夏組は皇以外のキャラクターが同じ組であっても会話データが少なく分析に至らない場合が多かった。このことから、子役出身の人気俳優で世間知らずな皇が演劇未経験の他メンバーと衝突しては成長し、自身が抱える舞台へのトラウマを素直にさらけ出せるようになって友達であり仲間となって行く様子が主軸であり、他のキャラクターは皇に対する感情によって関係性や人となりを表現することが優先されていることが分かる。皇に対し瑠璃川は「怒り」、向坂は「悲しみ」、斑鳩と三好は「好き」の感情が最も強く反映されており、それぞれのキャラクター性が伺える。特に皇と瑠璃川は本公演で最も会話数が多く、その大半が言い争いであるため、互いに怒りの感情が出やすく、他のキャラ

クター同士のやりとりが極端に少なくなっていると言える。向坂はもともとネガティブな性格であり、皇から責められた際の悲しみが感情分析に反映されている。反対に瑠璃川とは2人きりのシーンで互いの弱さと強さを認め合い励ましており、瑠璃川よりも向坂の方がポジティブの割合が高い結果となった。また、斑鳩は会話らしい会話が皇・監督（観客）とのやり取りのみであり、神出鬼没な登場であったことも影響してポジティブな不思議キャラのポジションで収まったが、時に人を優しく励ますところがあり今後のストーリーへの展開を感じさせるセリフの感情分布となった。三好は全セリフの感情バランスが最も取れており、突然現れた斑鳩への優しい声掛けや高校時代の後輩である皆木との会話データも、大学デビューで友達を多く作ろうとするあまり自分の意見を言わずに人の気持ちを察して優先し続けていた三好の、周りや相手に合わせた言動ができる力が表現できていると読み取れる。

「～SPRING & SUMMER 2018～」のセリフ分析からは、各キャラクターの人間関係や会話数、相手への意識や性格が細かく表現されていることが分かった。特にリーダーが物語のメインであることにより、ゲームでストーリーを読むだけでは見え難くなっていた個々の劇団員らしさも、注目すると特徴がしっかりと出ており、どのキャラクターのファンも自分の推しが存在している感覚を味わえる表現になっていたと言える。シリーズの初演でありながらキャラクター一人ひとりを繊細に作り上げている点や人間関係が発展する余地のあるキャラクター同士の距離感は、成長を見守りたいという女性客の気持ちを煽り人気シリーズになった一つの理由である。

2-2 AUTUMN & WINTER 2019

「～AUTUMN & WINTER 2019～」では一幕で秋組が結成し旗揚げ公演を行うまで、二幕では冬組が結成し旗揚げ公演を行うまでのゲーム内メインストーリー3幕・4幕の内容が描かれている。

2-2-1 出演キャラクター

本公演の出演キャラクターは次の通りである。
メインキャラクター

【秋組】 撰津万里、兵頭十座、七尾太一、伏見臣、古市左京

【冬組】 月岡紬、高遠丞、御影密、有栖川誉、雪白東

サポートキャラクター

【春組】 皆木綴、茅ヶ崎至 【夏組】 向坂椋、斑鳩三角

【裏方・その他】 松川伊助、鹿島雄三、迫田ケン 【GOD座】 神木坂レニ、飛鳥晴翔

2-2-2 セリフ分析結果

第1節と同様、本公演の戯曲本からセリフを自然言語解析し感情分析を行った結果を表8にした。

表8から、本公演も「～SPRING & SUMMER 2018～」と同様に、各キャラクターによって相手に抱く感情や、会話をする相手に偏りがあることが分かる。特に兵頭十座は撰津万里とのやりとりや、いそこである向坂へのセリフが集中しており、御影密はほとんど会話をせず寝ていたため同じ組のメンバーであってもデータを取得できなかった。

2-2-3 関係性の図式化と考察

第一節と同様に、矢印の色と太さにより感情とその度合いを示した相関図を図2に示す。

一幕では、何事も簡単にこなせる撰津が人生で初めて負けた相手である兵頭をきっかけに偶然秋組オーディションに参加することになり秋組が結成され、鹿島の指導によってそれぞれが過去の後悔を「ポートレイト」と呼ばれる一人芝居でさらけ出し「仲間」になって行く。

撰津は兵頭に因縁があり、兵頭も自身が真剣に向き合いたい演劇に対して甘い考えをしている撰津が気に入らず、常に喧嘩腰であるため、互いに怒りの感情が強く出ている。また、伏見と七尾が互いにネガティブで悲しい感情を抱いている結果は、七尾がGOD座のスパイにされていたことを

表8 AUTUMN & WINTER 2019 各キャラクターのセリフ感情分析

発言キャラクター	相手	ポジティブ	ネガティブ	中立	感情
摂津万里	全員（全セリフ）	4.1%	35.2%	60.7%	怒り 86.2%
	兵頭十座	3.8%	49.1%	47.2%	怒り 87.5%
	七尾太一	14.3%	28.6%	57.1%	怒り 83.8%
	伏見臣				
兵頭十座	古市左京	0.1%	27.8%	72.2%	怒り 83.0%
	全員（全セリフ）	2.2%	37.7%	60.1%	怒り 86.6%
	摂津万里	0.1%	33.3%	66.6%	怒り 88.9%
	七尾太一				
七尾太一	伏見臣				
	古市左京				
	向坂棕	7.7%	69.2%	23.1%	怒り 82.6%
	全員（全セリフ）	7.9%	38.1%	54.0%	好き 74.1%
伏見臣	摂津万里	15.4%	23.1%	61.5%	好き 86.7%
	兵頭十座				
	伏見臣	4.8%	47.6%	54.0%	悲しみ 74.1%
	古市左京				
古市左京	全員（全セリフ）	7.1%	25.9%	67.0%	悲しみ 72.1%
	摂津万里				
	兵頭十座	0.1%	16.7%	83.3%	怒り・好き 72.4%
	七尾太一	9.5%	28.6%	61.9%	悲しみ 79.5%
月岡紬	古市左京	28.6%	14.3%	57.1%	悲しみ 77.1%
	全員（全セリフ）	2.4%	39.7%	57.9%	怒り 88.7%
	摂津万里	0.1%	29.6%	70.3%	怒り 86.6%
	兵頭十座	0.1%	46.1%	53.8%	怒り 85.5%
高遠丞	七尾太一				
	伏見臣				
	監督（観客）	4.5%	52.3%	43.2%	怒り 88.8%
	全員（全セリフ）	10.9%	36.3%	52.8%	好き 78.3%
御影密	高遠丞	8.7%	34.8%	56.5%	好き 81.9%
	御影密				
	有栖川誉	16.7%	33.3%	50.0%	好き 75.9%
	雪白東				
有栖川誉	神木坂レニ	10.0%	30.0%	60.0%	悲しみ 78.3%
	全員（全セリフ）	3.9%	40.2%	55.9%	怒り 87.3%
	月岡紬	3.2%	37.9%	58.9%	怒り 88.2%
	御影密				
雪白東	有栖川誉				
	雪白東	0.1%	50.0%	50.0%	喜び・悲しみ 68.3%
	神木坂レニ	7.7%	46.2%	46.2%	怒り 78.3%
	全員（全セリフ）	9.8%	36.6%	53.7%	怒り 80.7%
斑鳩三角	月岡紬				
	高遠丞				
	有栖川誉				
	雪白東				
追田ケン	全員（全セリフ）	11.2%	35.5%	53.3%	悲しみ 67.7%
	月岡紬	15.0%	25.0%	60.0%	好き・怒り 73.1%
	高遠丞	18.2%	36.4%	45.5%	好き 86.5%
	御影密	6.7%	60.0%	33.3%	悲しみ 87.3%
飛鳥晴翔	雪白東	0.1%	0.1%	99.8%	怒り 87.3%
	全員（全セリフ）	9.9%	34.7%	55.4%	好き 75.4%
	月岡紬	25.0%	16.7%	58.3%	好き 84.1%
	高遠丞	7.1%	35.7%	57.1%	怒り 75.6%
神木坂レニ	御影密				
	有栖川誉	7.7%	15.4%	76.9%	好き 77.5%
飛鳥晴翔	兵頭十座	11.1%	38.9%	50.0%	好き 80.9%
	月岡紬・高遠丞	0.1%	33.1%	66.6%	悲しみ 74.1%
斑鳩三角	古市左京	18.5%	18.5%	63.0%	好き 79.4%
	高遠丞	0.1%	30.0%	69.9%	怒り 86.7%
追田ケン	高遠丞	0.1%	50.0%	50.0%	怒り 74.2%
	高遠丞				

出所：野津が独自に作成

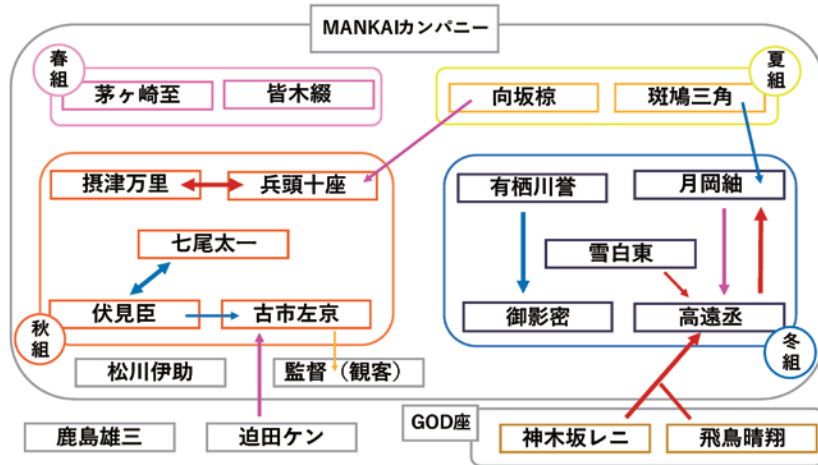


図2 AUTUMN WINTER 2019 感情の相関図

出所：野津が独自に作成

伏見が最初に知り、後悔と罪悪感を打ち明ける七尾と慰める伏見の会話によるものである。そして、古市は他のメンバーを厳しく叱咤する中で、監督（観客）には芝居への思い入れや本心を吐露していたため、わずかながらポジティブな感情が見られたと推察する。

摂津と兵頭の関係は一幕で描かれるストーリーのメインである。他の秋組メンバーは関わりが多くない。しかし、ファンがキャラクターについて知る大きなきっかけとなる過去の話「ポートレート」としてまとめることにより、メンバーもお互いに観て相手を理解しているという状況になっている。更に、ゲーム内ストーリーでキャラクターが語っていたポートレートの内容を実際に舞台上で役者が演じていることにより、観客は他のメンバーの視点からもそのキャラクターについて考えることが出来、キャラクターが相手に抱く想いを推し量ることも出来るため、よりキャラクター同士の関係を意識することが可能な演出である。

二幕では、新生冬組旗揚げ公演「天使を憐れむ歌。」上演までに「劇団七不思議」と呼ばれるファンタジーな道具の力を借りながら関係を構築し、七尾の一件をきっかけに高遠が退団したGOD座にタイマンACT⁽¹⁵⁾で勝利する。

初めは、学生時代共にGOD座のオーディショ

ンを受け、落ちたことを原因に芝居から離れた月岡と、1人だけ合格しトップキャストとなった高遠との関係は幼馴染みでありながら、ぎこちなかった。高遠が弱気な月岡に対して強く当たるシーンが多く見受けられるため、高遠の怒りという感情が高い値であることを納得できる。二人の関係が修復されるきっかけとなった「無限人形」という1日をループしてしまう「ぬいぐるみ」の存在を知っており、唯一共にループしてしまっていた斑鳩は二人に注意していたため、ネガティブな感情が出たと考えられ、月岡は無限人形をきっかけに伝えた言葉から、高遠に対し発言内容はネガティブでありつつ「好き」の感情が最も高くなったと考察する。二幕でも月岡と高遠の二人がメインと言えるため他のメンバーは関わりが少ないものの、有栖川は同室になり世話を焼いているため御影へネガティブな感情が強く、雪白は疑い合ってしまった高遠以外は好意的であることが分析から分かる。

2-3 SPRING 2019

「～SPRING 2019～」では、一幕で主演が碓氷真澄、準主演が茅ヶ崎至の第2回公演「不思議の国の青年アリス」上演まで、二幕では主演が皆木綴、準主演がシトロンの第3回公演「ぜんまい仕

掛けのココロ」上演までのゲーム内同公演イベントストーリーの内容が描かれている。

2-3-1 出演キャラクター

本公演の出演キャラクターは以下の通りである。

メインキャラクター

【春組】佐久間咲也、碓氷真澄、皆木綴、茅ヶ崎至、シトロン

サポートキャラクター

【夏組】瑠璃川幸 【秋組】摂津万里、古市左京

【冬組】月岡紬、雪白東

【裏方・その他】水野茅、迫田ケン、松川伊助

2-3-2 セリフ分析結果

本公演から各組の単独公演となり、表9を見る

と会話数にかなり偏りがあった「～SPRING & SUMMER 2018～」比べ、春組メンバー同士の関わりが増えていることが分かる。ストーリーは主演と準主演の2人がメインとなることも多いこともあり、茅ヶ崎のみ、準主演同士であるシトロンとの会話が少ないという状態である。その点、佐久間は第2回公演、第3回公演とも助演であるが、リーダーとしてメンバー全員に働き掛けつつ、サポートキャラクターとの会話も多いことから社交的な面が感じ取れる結果となった。

2-3-3 関係性の図式化と考察

一幕では、愛する監督に主演を任された碓氷が「大人の男」を目指して自立心・包容力・自制心・冷静沉着・寛容さのある態度を取ろうと無理をしていたところを準主演である茅ヶ崎に指摘され、

表9 SPRING 2019 各キャラクターのセリフ感情分析

発言キャラクター	相手	ポジティブ	ネガティブ	中立	感情
佐久間咲也	全員（全セリフ）	15.5%	34.0%	50.4%	好き 84.5%
	碓氷真澄	2.4%	47.6%	50.0%	好き 80.1%
	皆木綴	26.5%	18.4%	55.1%	好き 87.9%
	茅ヶ崎至	19.4%	29.0%	51.6%	好き 78.2%
	シトロン	19.2%	42.3%	38.5%	好き 84.2%
	摂津万里	7.4%	40.7%	51.9%	好き 78.9%
	古市左京	14.7%	32.4%	52.9%	悲しみ 73.7%
	月岡紬	22.2%	44.4%	44.4%	好き 85.4%
碓氷真澄	全員（全セリフ）	6.3%	33.3%	60.3%	怒り 80.2%
	佐久間咲也	4.3%	13.0%	82.6%	怒り 84.4%
	皆木綴	0.1%	18.2%	81.7%	悲しみ 72.3%
	茅ヶ崎至	2.7%	41.1%	56.2%	怒り 85.5%
	シトロン	11.8%	17.6%	70.6%	好き 75.6%
皆木綴	全員（全セリフ）	8.0%	32.8%	59.2%	好き 75.2%
	佐久間咲也	4.3%	48.9%	46.8%	悲しみ 76.0%
	碓氷真澄	8.3%	33.3%	58.3%	怒り 79.5%
	茅ヶ崎至	6.7%	60.0%	33.3%	悲しみ 81.4%
	シトロン	6.0%	25.9%	68.1%	好き 74.5%
	水野茅	27.3%	36.4%	36.4%	好き 84.6%
茅ヶ崎至	全員（全セリフ）	10.7%	31.0%	58.4%	怒り 76.5%
	佐久間咲也	14.3%	32.1%	53.6%	怒り 75.6%
	碓氷真澄	10.7%	28.2%	61.2%	怒り 75.7%
	皆木綴	20.0%	30.0%	50.0%	好き・悲しみ・恐れ 66.3%
	シトロン				
シトロン	全員（全セリフ）	23.7%	10.7%	65.6%	好き 86.9%
	佐久間咲也	21.9%	3.1%	75.0%	好き 86.7%
	碓氷真澄	27.8%	5.6%	66.7%	好き 88.6%
	皆木綴	22.4%	15.3%	62.2%	好き 85.4%
	茅ヶ崎至	10.0%	30.0%	60.0%	好き 86.4%
月岡紬	佐久間咲也	12.5%	15.6%	71.9%	好き 83.1%
雪白東	古市左京	28.6%	28.6%	42.9%	好き 87.7%
水野茅	皆木綴	21.9%	25.0%	53.1%	好き 82.5%

出所：野津が独自に作成

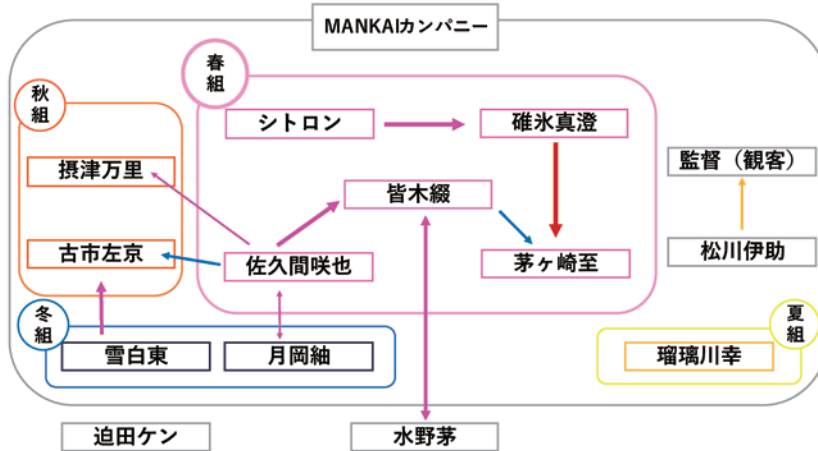


図3 SPRING 2019 感情の相関図

出所：野津が独自に作成

衝突してしまう。そのため碓氷は反発した発言が多く茅ヶ崎に対して怒りの感情が強く出ており、ネガティブな割合も高かった。また、皆木は茅ヶ崎に悲しみの感情が見られ、これまであまり関わらなかった碓氷と「大人」として向き合うよう勧めたことが関係していると考察される。

二幕では、皆木がハッピーエンドな友情ものの脚本ばかりであると悩み、スランプに陥ってしまう。このスランプを抜け出すきっかけを与えたのは、主に水野と準主演のシトロンである。水野は資産家の息子で、小学生の頃初めて出来た友達の皆木と立場の違いから母親に引き離されてしまった過去を持つ。そのため、回想シーンや劇中劇後の顔を合わさず行なった会話から、水野と皆木は互いに会話中のネガティブな割合が高いものの、好きという感情が強く表れたと言える。シトロンに関しては、皆木に気分転換をさせたり助言をしたりと支えていたが、皆木の漫才ネタや随所にあるツッコミによる発言から平均するとあまり目立たない結果となった。しかし、互いに向いている感情は「好き」である。

一幕・二幕を通しては、観客が監督という演出上、監督の役割を多く引き受けている松川がポジティブに話しかけていることや、佐久間・摂津・月岡のリーダー同士が好意的であり相談し合える良好な関係であることが見受けられた。本公演で

は組を越えた劇団員同士の関わりが特に多く、観客はそれぞれの接し方を良く見ることが出来たと言える。

2-4 SUMMER 2019

「～SUMMER 2019～」では、一幕で主演が瑠璃川幸、準主演が三好一成の第2回公演「にほしを巡る冒険」上演まで、二幕では主演が斑鳩三角、準主演が向坂椋の第3回公演「抜錨! スカイ海賊団」上演までのゲーム内同公演イベントストーリーの内容が描かれている。

2-4-1 出演キャラクター

メインキャラクター

【夏組】 皇天馬, 瑠璃川幸, 向坂椋, 斑鳩三角, 三好一成

サポートキャラクター

【春組】 佐久間咲也, 皆木綴 【秋組】 兵頭十座

【裏方・その他】 斑鳩円, 鹿島雄三

【GOD座】 神木坂レニ, 飛鳥晴翔

2-4-2 セリフ分析結果

「～SPRING 2019～」と同様、本公演も「～SPRING & SUMMER 2018～」に比べて夏組メンバー同士の関わりがかなり増えていた。第2回公演で主演の瑠璃川のみ、第3回公演で準主演の向

表 10 SUMMER 2019 各キャラクターのセリフ感情分析

発言キャラクター	相手	ポジティブ	ネガティブ	中立	感情
皇天馬	全員（全セリフ）	4.6%	41.0%	54.4%	怒り 85.3%
	瑠璃川幸	0.1%	43.9%	56.0%	怒り 88.0%
	向坂椋	8.3%	41.7%	50.0%	怒り 71.7%
	斑鳩三角	5.0%	43.8%	51.2%	怒り 85.5%
	三好一成	4.4%	35.6%	60.0%	怒り 87.2%
	佐久間咲也	0.2%	42.9%	54.3%	怒り 82.9%
瑠璃川幸	全員（全セリフ）	4.2%	38.9%	56.9%	怒り 82.2%
	皇天馬	5.0%	40.0%	55.0%	怒り 88.5%
	向坂椋				
	斑鳩三角	5.9%	35.3%	58.8%	好き・怒り・悲しみ 65.4%
	三好一成	2.2%	52.2%	45.7%	怒り 85.9%
向坂椋	全員（全セリフ）	14.5%	28.5%	57.0%	好き 84.8%
	皇天馬	4.8%	28.6%	66.7%	悲しみ 79.9%
	瑠璃川幸	23.5%	11.8%	64.7%	好き 85.2%
	斑鳩三角	19.0%	26.2%	54.8%	好き 77.5%
	三好一成	13.3%	53.3%	33.3%	好き 76.7%
	斑鳩円	6.3%	43.8%	50.0%	好き 82.1%
斑鳩三角	全員（全セリフ）	7.8%	31.3%	60.8%	好き 83.2%
	皇天馬	6.4%	27.7%	66.0%	好き 88.1%
	瑠璃川幸	7.1%	42.9%	50.0%	好き・悲しみ 69.1%
	向坂椋	3.8%	30.8%	65.4%	好き 84.4%
	三好一成	10.7%	25.0%	64.3%	好き 80.4%
三好一成	全員（全セリフ）	22.7%	23.5%	53.8%	好き 83.3%
	皇天馬	23.8%	23.8%	52.4%	好き 80.9%
	瑠璃川幸	26.9%	22.4%	50.7%	好き 86.3%
	向坂椋	11.1%	27.8%	61.1%	好き 86.4%
	斑鳩三角	21.2%	24.2%	54.5%	好き 87.5%
佐久間咲也	皇天馬	12.9%	35.5%	51.6%	好き 74.8%
	飛鳥晴翔	24.0%	20.0%	56.0%	悲しみ 74.7%
皆木綴	佐久間咲也	4.0%	36.0%	60.0%	悲しみ 77.6%
兵頭十座	向坂椋	5.9%	35.3%	58.8%	怒り 85.5%
斑鳩円	向坂椋	0.1%	26.9%	73.0%	好き 76.9%
鹿島雄三	全員（全セリフ）	5.6%	29.0%	65.4%	怒り 86.4%
飛鳥晴翔	佐久間咲也	2.8%	47.2%	50.0%	怒り 87.8%
	神木坂レニ	18.2%	36.4%	45.5%	悲しみ 85.0%
神木坂レニ	飛鳥晴翔	4.1%	28.6%	67.3%	怒り 74.5%

出所：野津が独自に作成

坂に対する発言が少ないということが分かる。また、同作で皇と監督以外のデータが取れていなかった斑鳩は、メンバー全員に好意的な傾向が見られた。

2-4-3 関係性の図式化と考察

一幕では、主演と衣装係を一人で完璧に両立させようとするあまり、納得できるデザインが浮かばない瑠璃川を三好が救う過程が劇中劇の芝居にも活かされて行く。皇の助言によって思ったままの意見を言えるようになった三好は瑠璃川に対しポジティブに、その三好に対して衣装へのプライドや想いを不器用なりに打ち明けた瑠璃川はネガ

ティブに感情が向いたと考えられる。また、原作ゲームの同公演ストーリーに GOD 座は登場していないが、神木坂からの命令で MANKAI キャンパニーの弱みを握ろうと偵察しに来た飛鳥を見つけた佐久間が夏組の絆について説くシーンが舞台ではあり、GOD 座内の関係や佐久間のまっ直ぐさが図 4 で示した感情の度合いに良く表れている。

二幕では、斑鳩とその祖父であり初代座付き作家であった斑鳩八角との思い出を巡り、斑鳩の育った家庭環境や弟の円との複雑な関係が語られる。その中で向坂が斑鳩に代わり実家へ出向いた際に話をしたのが円であり、互いに控えめでありながら斑鳩への想いを持っていたため、発言にネ

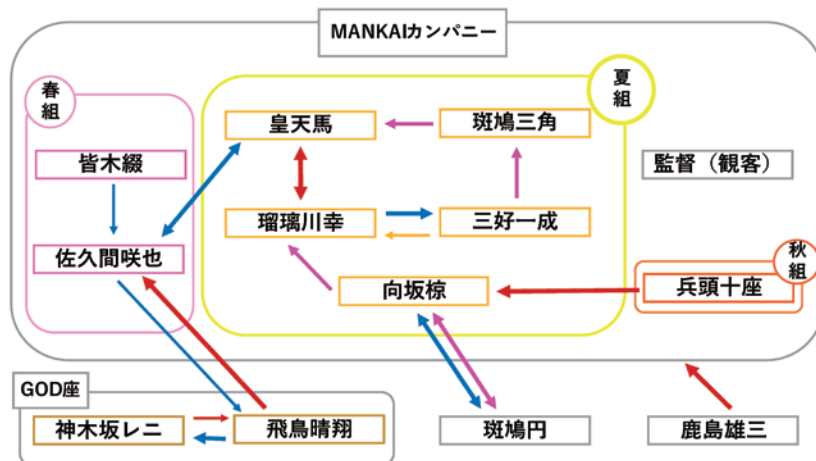


図4 SUMMER 2019 感情の相関図

出所：野津が独自に作成

ガティブの割合が高いと同時に好きという感情が表れたと考えられる結果となった。また、兵頭から向坂へ怒りの感情が表れているが、これは直接怒っている訳ではなく、思うように力になれなかった自分を責めていたことが要因であると言える。

全体を通して、皇が初めて舞台で脇役として周りを支える立場となり悩みながら奮闘して行く中で、同じリーダーでありつつ性格の全く違う佐久間にどうするべきか相談していたことにより互いの発言にネガティブさが多く表れ、またカンパニーの劇団員に対し厳しい指導を行う鹿島に怒りの感情が強く反映されたと考えられる。

2-5 AUTUMN 2020

「～AUTUMN 2020～」では、一幕で主演が伏見臣、準主演が七尾太一の第2回公演「異邦人」上演まで、二幕では主演が古市左京、準主演が兵頭十座の第3回公演「仁侠伝・流れ者銀二」上演までのゲーム内同公演イベントストーリーの内容が描かれる。

2-5-1 出演キャラクター

メインキャラクター

【秋組】 撰津万里、兵頭十座、七尾太一、伏見

臣、古市左京

サポートキャラクター

【春組】 皆木綴 【夏組】 皇天馬、向坂棕

【冬組】 雪白東

【裏方・その他】 新庄リョウ、迫田ケン、松川伊助

2-5-2 セリフ分析結果

本公演でも「～SPRING & SUMMER 2018～」と「～SPRING 2019～」 「～SUMMER 2019～」のようにメインとなる組のメンバー同士の関わりが濃くなり、データが取得できなかったのは、第2回公演と第3回公演の準主演同士である兵頭と七尾のみとなった。また、リーダー同士の撰津・皇、いとこ同士の兵頭・向坂、年長者同士の古市・雪白、兄分と舎弟の古市・迫田と、組を越えた組み合わせとして安定しているキャラクターが集まっており、多くはそれぞれに特徴が出ている。

2-5-3 関係性の図式化と考察

一幕では、伏見が暴走族時代共にトップであった親友を亡くして仲間とも離れてしまった後悔を振り切り、過去を背負って芝居に挑むまでの過程が描かれている。その中で、七尾は伏見に対して

表 11 AUTUMN 2020 各キャラクターのセリフ感情分析

発言キャラクター	相手	ポジティブ	ネガティブ	中立	感情
摂津万里	全員 (全セリフ)	7.2%	34.0%	58.9%	怒り 82.4%
	兵頭十座	5.4%	29.7%	64.9%	怒り 83.1%
	七尾太一	3.3%	36.7%	60.0%	怒り 87.6%
	伏見臣	8.9%	31.1%	60.0%	怒り 78.0%
	古市左京	12.0%	40.0%	48.0%	好き 74.9%
兵頭十座	全員 (全セリフ)	8.3%	37.5%	54.2%	怒り 87.1%
	摂津万里	1.9%	30.6%	67.5%	怒り 79.2%
	七尾太一	2.4%	29.3%	68.3%	怒り 77.6%
	伏見臣	0.1%	37.0%	62.9%	怒り・悲しみ 67.2%
	古市左京	2.3%	31.8%	65.9%	好き 76.6%
七尾太一	全員 (全セリフ)	12.6%	27.0%	60.4%	好き 82.3%
	摂津万里	3.8%	26.9%	69.2%	怒り・好き 70.9%
	兵頭十座				
伏見臣	全員 (全セリフ)	16.9%	19.5%	63.6%	好き 83.2%
	古市左京	15.0%	35.0%	50.0%	好き 78.8%
	摂津万里	6.5%	35.1%	58.4%	怒り 78.6%
	兵頭十座	9.1%	39.4%	51.5%	怒り 73.6%
	七尾太一	2.9%	40.0%	57.1%	怒り 85.6%
古市左京	全員 (全セリフ)	5.3%	38.2%	56.6%	怒り 76.0%
	古市左京	7.1%	32.1%	60.7%	怒り 84.4%
	摂津万里	3.4%	35.2%	61.4%	怒り 89.1%
	兵頭十座	11.1%	27.8%	61.1%	怒り 89.0%
	七尾太一	0.1%	31.9%	68.0%	怒り 89.4%
皆木綴	全員 (全セリフ)	0.1%	72.7%	27.2%	怒り 89.5%
	伏見臣	0.1%	36.8%	63.1%	怒り 85.4%
	迫田ケン	5.3%	42.1%	52.6%	怒り 89.8%
	松川伊助	35.7%	7.1%	57.1%	好き 79.9%
	皇天馬	0.1%	37.5%	62.4%	怒り 76.2%
向坂椋	皇天馬	5.6%	36.1%	58.3%	好き 79.9%
	古市左京	18.2%	18.2%	63.6%	好き 79.4%
雪白東	伏見臣	3.0%	39.4%	57.6%	好き 89.5%
	迫田ケン	16.7%	38.9%	44.4%	好き 86.4%
迫田ケン	古市左京	0.1%	26.6%	73.3%	好き 81.4%

出所：野津が独自に作成

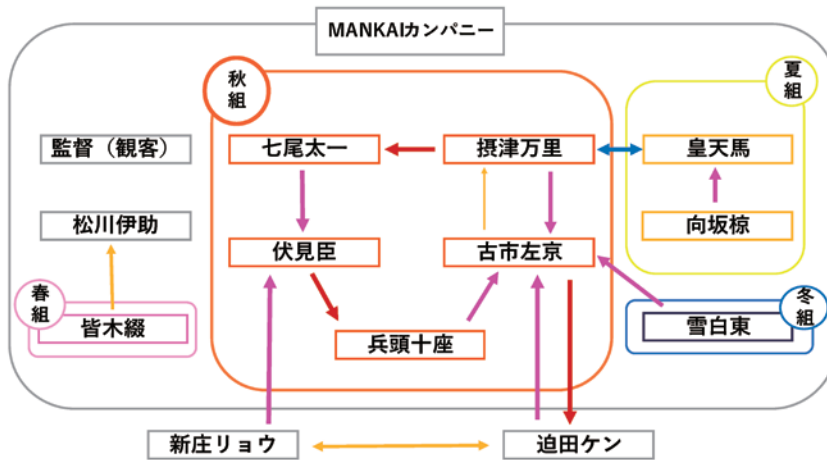


図 5 AUTUMN 2020 感情の相関図

出所：野津が独自に作成

明るく接すると同時に過去の捉え方を変えるような助言もしており、「好き」の感情が強く出る結果となった。また、暴走族時代に伏見を慕っていた新庄は、暴走族を抜けて役者になった伏見に一度は失望し怒りをぶつけていたが、親友の夢を背負って役者になったと知り、第2回公演の舞台で変わらない姿を見てファンとなったため、同じく「好き」が強く向いている。最終的に古市の舎弟である迫田とも意気投合し、ポジティブな感情をお互いに持っている。そして、伏見は兵頭に対しての発言が他のメンバーよりもポジティブさが少なく怒りの感情が強く出ているが、これは兵頭に過去の後悔を吐露しており、当時の自分に対する怒りが含まれている。

次に二幕では、昔から後ろめたさを感じて生きていた古市が、メンバー達の誤解から生じた退団騒動をきっかけに、多くの人から必要とされると認められるようになった。古市が退団するのかと、他のメンバー全員が稽古に身が入らなくなるほど心配しており、摂津と兵頭は古市に対してのみ「好き」の感情が最も高い数値となった。また、雪白は古市と酒を酌み交わしながら悩みを聞くシーンでの発言などから「好き」と出ている。

全体を通して、摂津がリーダーとしての悩みを相談している皇に対しネガティブな割合、落ち着かない七尾に対し怒りの数値が高いと見られ、皆木は脚本家としての期待を松川に話していたことからポジティブな感情が多く表れた。

2-6 WINTER 2020

「～WINTER 2020～」では、一幕で主演が有栖川誉、準主演が御影密の第2回公演「主人はミステリにご執心」上演まで、二幕では主演が雪白東、準主演が高遠丞の第3回公演「真夜中の住人」上演までのゲーム内同公演イベントストーリーの内容が描かれている。

2-6-1 出演キャラクター

メインキャラクター

【冬組】月岡紬, 高遠丞, 御影密, 有栖川誉, 雪白東

サポートキャラクター

【春組】皆木綴, シトロン 【夏組】三好一成

【秋組】伏見臣

【裏方・その他】松川伊助

2-6-2 セリフ分析結果

本公演では、唯一他の組のリーダーが不在であったが、これまでと概ね同じ傾向が見られた。「～AUTUMN & WINTER～」に比べ冬組のメンバー同士の関わりが深くなり、他のメンバーとのデータが全く取れていなかった御影も雪白を除く4人へのデータを取得できた。ここでも準主演同士のみデータがとれていない状態であり、単独公演の特徴が見えている。

2-6-3 関係性の図式化と考察

一幕では、有栖川が執事である自分の役の心情がなかなか理解できず苦しみ、記憶喪失の御影もまた芸術肌で極端な思考の有栖川が考えることが理解できずにいた中で、「相手の身になって考えることはできる」という監督の助言をきっかけに成長して行く。その中で、御影は有栖川と接する際に動揺していたり、素っ気ないツンデレ的な態度をとっていたりしていたことから、ネガティブな割合が高くなっている。また、有栖川は月岡と高遠に芝居や探し物の相談をした発言から怒りや悲しみの感情が表れていると考えられ、月岡はポジティブに、高遠は怒りの感情を帯びて返していることが分かり、それぞれの個性が感じられた。

次に二幕では、孤独な吸血鬼の役で主演となった雪白が、両親を亡くし兄が行方不明のままである自身の孤独さと向き合おうとする中で、それまで衝突を避けるために踏み込んで聞くことが出来なかった他のメンバー達も勇気を出し、互いの距離感が変わって行く。高遠と雪白は旗揚げ公演の時に疑い合ったが、今回は過去や想いをさらけ出したこともあり、第2節の結果とは打って変わり「好き」の感情が互いに向く結果となった。高遠は雪白に対してのみ「好き」の数値が最も高くなり、雪白は「好き」の数値で言えば有栖川に対しての方が高い値であるが、ポジティブの割合は高

表12 WINTER 2020 各キャラクターのセリフ感情分析

発言キャラクター	相手	ポジティブ	ネガティブ	中立	感情
月岡紬	全員（全セリフ）	19.0%	31.9%	49.0%	好き 83.6%
	高遠丞	11.8%	19.6%	68.6%	好き 84.0%
	御影密	5.3%	57.9%	36.8%	好き 79.5%
	有栖川誉	24.6%	30.8%	44.6%	好き 87.5%
	雪白東	15.0%	55.0%	30.0%	悲しみ 83.0%
高遠丞	全員（全セリフ）	10.2%	31.3%	58.5%	怒り 77.0%
	月岡紬	6.8%	31.8%	61.4%	怒り 77.5%
	御影密	3.6%	21.4%	75.0%	怒り 84.7%
	有栖川誉	5.3%	34.2%	60.5%	怒り 87.3%
	雪白東	17.8%	32.2%	50.0%	好き 77.0%
御影密	全員（全セリフ）	3.3%	50.0%	46.7%	怒り 73.7%
	月岡紬	1.0%	38.5%	53.8%	怒り 82.5%
	高遠丞	0.1%	27.8%	72.2%	怒り・好き・悲しみ 66.3%
	有栖川誉	0.1%	50.9%	49.0%	怒り 74.7%
	雪白東				
有栖川誉	全員（全セリフ）	10.5%	31.0%	58.5%	怒り 73.4%
	月岡紬	4.1%	40.5%	55.4%	怒り 82.1%
	高遠丞	2.2%	38.5%	50.0%	悲しみ 75.0%
	御影密	7.7%	34.6%	57.7%	怒り 74.3%
	雪白東	18.2%	13.6%	68.2%	好き 79.0%
雪白東	全員（全セリフ）	10.1%	29.5%	60.4%	好き 81.8%
	月岡紬	7.7%	15.4%	76.9%	好き 79.9%
	高遠丞	12.4%	31.4%	56.2%	好き 83.5%
	御影密				
	有栖川誉	9.1%	27.3%	63.6%	好き 88.5%
皆木綴	シトロン	2.1%	22.9%	75.0%	怒り 77.1%
	三好一成	11.1%	33.3%	55.6%	好き 83.2%
	伏見臣	5.0%	50.0%	45.0%	好き 76.3%
	皆木綴	20.7%	10.3%	69.0%	好き 80.7%
シトロン	皆木綴	5.9%	47.1%	47.1%	好き 82.8%
三好一成	伏見臣	12.5%	37.5%	50.0%	好き 85.9%
	月岡紬	6.3%	31.3%	62.5%	悲しみ 88.3%
	皆木綴	25.0%	45.8%	29.2%	怒り・好き 72.0%
伏見臣	皆木綴	25.0%	45.8%	29.2%	怒り・好き 72.0%
	月岡紬	36.8%	23.7%	39.5%	好き 79.8%

出所：野津が独自に作成

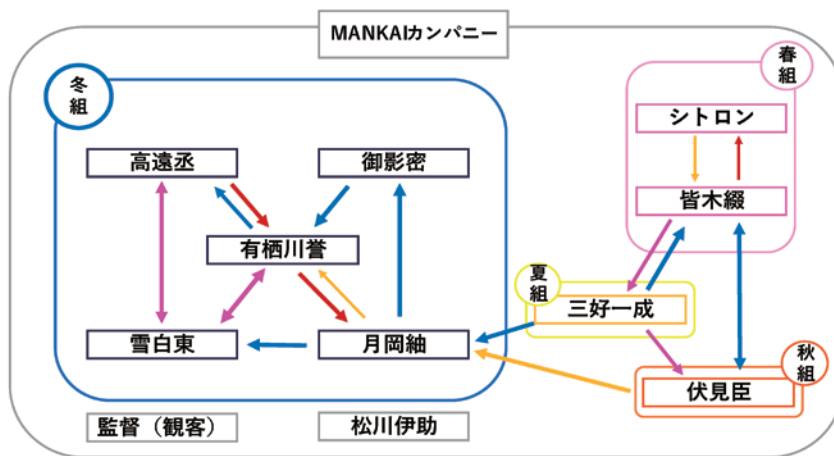


図6 WINTER 2020 感情の相関図

出所：野津が独自に作成

遠が上回っている。

全体を通しては、他の組がシトロ・皆木のボケとツッコミ、三好・皆木、伏見・皆木の先輩後輩という組み合わせになっていることもあり、春～秋組の単独公演に比べてメインとなる組内の関わりが濃く、月岡がリーダーとして他の組のメンバーに相談したことを冬組に持ち帰っている構図となった。

3. 結 語

「MANKAI STAGE『A3!』」におけるキャラクターの“らしさ”表現について、人工知能を用いて戯曲本全6冊のセリフ（会話文）の自然言語解析を行ったことにより、次の7項目が明らかになった。

- (1) キャラクターによって数値が高くなる感情に偏りがみられる。主に「怒り」と「好き」に偏るキャラクターが多く、それぞれのキャラクター性が反映されている。
- (2) 原作ストーリー第1幕～4幕を描いた「～SPRING & SUMMER 2018～」 「～AUTUMN & WINTER 2019～」では、リーダーの成長が物語の中心となり、リーダー以外のメンバーは同じ組でも会話数が少ないなど、会話をする相手に偏りがある。
- (3) 項目(2)において、リーダー以外のメンバーは、リーダーに掛ける言葉や他のメンバーと話している場合はその会話から量られた感情にキャラクター性が表れている。
- (4) 各組単独公演では、準主演同士の会話数は少ない傾向にあるものの、組内の関わりが前作よりも深くなっている。
- (5) 単独公演では、リーダー以外の主演もしくは準主演の過去と成長が物語の中心となり、特に過去の共有では他メンバーの受け入れ方、感情の違いにキャラクター性や関係性が反映されている。
- (6) 単独公演では、メインとなる組のメンバーとサポートキャラクターに、向坂と兵頭のいところ同士といった組を越えて深く関わりのあ

る組み合わせが多く、感情の出方に特徴がある。

- (7) 春～秋組の単独公演では、リーダー同士での相談が多くみられ、相談という内容からネガティブな発言の割合が高い傾向にある。項目(1)のような相手への感情の違いからキャラクター性や他の組との雰囲気の違いが見られる。

以上から、舞台での会話セリフにみられる感情は、キャラクター性やキャラクター同士の関係性を表現している。

第1節では、「MANKAI STAGE『A3!』」について原作ゲームのストーリーやキャラクター、公演概要などから、キャラクター同士の関わりが濃く、そこから“推しらしさ”見出し易いコンテンツであると考えられた。第2節でセリフを分析し表や図で整理することにより、キャラクターごとにみられる感情の差や特徴を明らかにし、「MANKAI STAGE『A3!』」の会話文はそのキャラクターの人間性（キャラクター性、“らしさ”）や相手との関係性を表現している結論に至った。

以上より、2.5次元舞台である「MANKAI STAGE『A3!』」において「キャラクターのファンは、他のキャラクターとのやり取りで感じられる関係性から物語における“推しらしさ”を見出しており、舞台ではキャラクター同士の関係性を見せることで“らしさ”が表現されている」という仮説が検証された。

《注》

- (1) 「『A3!』のダウンロード数が700万件を突破!記念にダイヤ50個の配布が決定」『ゲーム情報サイト Gamer』
<https://www.gamer.ne.jp/news/202006090040/>
- (2) 画像: CAST & STAFF | MANKAI STAGE『A3!』～SUMMER 2019～
<http://www.mankai-stage.jp/summer2019/cast/index.html>
- (3) 画像: CAST & STAFF | MANKAI STAGE『A3!』～AUTUMN 2020～
<http://www.mankai-stage.jp/autumn2020/cast/index.html>
- (4) 画像: CAST & STAFF | MANKAI STAGE『A3!』～WINTER 2020.08～
<http://www.mankai-stage.jp/winter2020-08/cast/index.html>
- (5) キャラクター | 【公式】A3! (エースリー) <https://>

- www.a3-liber.jp/character/
- (6) 画像: ARCHIVE LIST | MANKAI STAGE『A3!』
<http://www.mankai-stage.jp/archive/index.html>
 - (7) TICKET & SCHEDULE | MANKAI STAGE『A3!』～SPRING & SUMMER 2018～
<http://www.mankai-stage.jp/archive/ss2018/ticket/index.html>
 - (8) TICKET & SCHEDULE | MANKAI STAGE『A3!』～AUTUMN & WINTER 2019～
<http://www.mankai-stage.jp/archive/aw2019/ticket/index.html>
 - (9) TICKET & SCHEDULE | MANKAI STAGE『A3!』～SPRING 2019～
<http://www.mankai-stage.jp/archive/spring2019/ticket/index.html>
 - (10) TICKET & SCHEDULE | MANKAI STAGE『A3!』～SUMMER 2019～
<http://www.mankai-stage.jp/summer2019/ticket/index.html>
 - (11) TICKET & SCHEDULE | MANKAI STAGE『A3!』～AUTUMN 2020～
<http://www.mankai-stage.jp/autumn2020/ticket/index.html>
 - (12) TICKET & SCHEDULE | MANKAI STAGE『A3!』～WINTER 2020.08～
<http://www.mankai-stage.jp/winter2020-08/ticket/index.html>
 - (13) TICKET & SCHEDULE | MANKAI STAGE『A3!』～WINTER 2020～
<http://www.mankai-stage.jp/winter2020/ticket/index.html>
- (14) AI自然言語解析 by ユーザーローカル <https://textmining.userlocal.jp/>, ユーザーローカル社・伊藤将雄社長からソフト使用の許諾を得ている (2021年10月8日)。
 - (15) 「タイムン ACT は同じ客に対して公演を行って、どちらの公演が良かったか、客の投票で勝敗を決める勝負のこと」 亀田真二郎 (2020) 『戯曲 MANKAI STAGE『A3!』～AUTUMN & WINTER 2019～』ネルケプランニング, pp.158

参考文献

- 亀田真二郎 (2020) 『戯曲 MANKAI STAGE『A3!』～SPRING & SUMMER 2018～』ネルケプランニング
- 亀田真二郎 (2020) 『戯曲 MANKAI STAGE『A3!』～AUTUMN & WINTER 2019～』ネルケプランニング
- 亀田真二郎 (2020) 『戯曲 MANKAI STAGE『A3!』～SPRING 2019～』ネルケプランニング
- 亀田真二郎 (2020) 『戯曲 MANKAI STAGE『A3!』～SUMMER 2019～』ネルケプランニング
- 亀田真二郎 (2020) 『戯曲 MANKAI STAGE『A3!』～AUTUMN 2020～』ネルケプランニング
- 亀田真二郎 (2020) 『戯曲 MANKAI STAGE『A3!』～WINTER 2020～』ネルケプランニング

